

**武蔵野市第五期長期計画・調整計画
無作為抽出市民ワークショップⅢ 実施報告【速報版】**

1 ワークショップの概要

平成 28 年度を初年度とする第五期長期計画・調整計画策定に向けて、平成 27 年 2 月に公表した討議要綱について、多くの市民の方から意見を伺うために無作為抽出市民ワークショップを開催した。市内に住民登録がある方 1000 人と平成 26 年 11 月に実施したワークショップⅡの参加者 73 人に案内を送付し、その中で参加を承諾された方を対象に行った。

5～6 人を 1 グループとして、グループ内で討議要綱に記載している方向性に関する具体的な実現方法、討議要綱とは別の方向性と実現方法、記載されていないが調整計画に取り上げるべき課題など、自由に意見・提案を出し合い、その後意見をまとめてグループごとに発表した。最後は参加者各々が、発表された意見の中で共感できるものに投票を行い、参加者から多く共感を得られた意見ベスト 3 を紹介した。

2 開催日時及び場所

平成 27 年 3 月 1 日（日）、3 月 8 日（日）いずれも午後 1 時から 5 時まで
市役所 811 会議室

3 参加者数

- ・ 1 日目：93 人（うち前回参加者 31 人）
- ・ 2 日目：75 人（うち前回参加者 25 人）

4 参加者から多く共感を得た意見（分野毎に 3 位まで。【 】内の数字は得票数）

<健康・福祉分野>

1 位 【15】「役所職員の勉強について」

システムのみ作って運用が上手にされていない事が多い。職員にはもっと専門性を勉強して市民へのサービス向上を望む。

2 位 【13】「障害者・高齢者を持つ家族へのサポートの充実」

学生ボランティア等による援助で負担を減らしてほしい。自宅へ来て家族の悩みや苦勞を感じ、理解を深めてもらいたい。

3 位 【12】「ミニ・コミセンを創ろう」

現状は敷居がたかい。遠い。参加したいイベントが少ない。時間が合わないので、“地域密着型の”ミニ・コミセンを創る。

<子ども・教育分野>

1 位 【21】「英語教育の拡充」

小学校から会話を重視し成績を付けない教育を行う。さらに学校以外でも外国人や大学生参加の場を広げ会話の機会を作る。

- 2位 【19】「中学生の居場所作り」
コミセン・空教室を活用し放課後の居場所を提供。人材は地域の中高大学生、シルバーを連携させて次世代リーダーを育てる。
- 3位 【14】「地域大学と高齢者の活用」
市内の5大学と各地域の高齢者が協力し合い、小中学生のための学習支援等の補習講座を開設する。
- 3位 【14】「シルバー人材の有効活用」
豊富なシルバー人材と子育て世代のニーズとのマッチング。SNSの活用、市報・コミセン・PTAとの連携。

<文化・市民生活、緑・環境>

- 1位 【16】「街の美観」
美観をそこねる派手な目立ち過ぎる看板や乱立するのぼり旗等の規制。廃品回収等の騒音規制。電線の地中化。
- 2位 【14】「すぐやる課を作る」
空家の管理、住宅地の防犯カメラの設置など、市に依頼したいことの窓口を一本化し、速やかに対応してもらう。
- 3位 【13】「“すぐやる課”を創設して欲しい」
コミセン、空き家問題、テンミリオンの活性化等、^{むくそう}輻輳する課題を一挙に解決してもらいたい。進捗は電子掲示板等で教える。

<都市基盤・行財政>

- 1位 【18】「市議会の廃止」
市民参加型行政機構の運営。権限を拡大する。財政圧迫のわりに政策や成果が…な市議は…。
- 2位 【15】「電線の地中化」
・災害時のインフラ確保。 ・交通の障害を無くす。 ・都市景観の向上。
- 3位 【12】「若者が住める街、武蔵野」
家賃補助、空き家、空き物件の有効利用等、若年層にも住みやすい住環境を創出する。

(※文字及び文章は発表用模造紙に記入されていた原文のまま表記)